



ウォーカー先生の
おもしろ教室

2020年1月第4号



ぼくはぐりん
 こっちは友達^{ともだち}のウッドン
 ぼくらは地球環境^{ちきゅうかんきょう}を守る
 活動^{かつどう}をしているよ



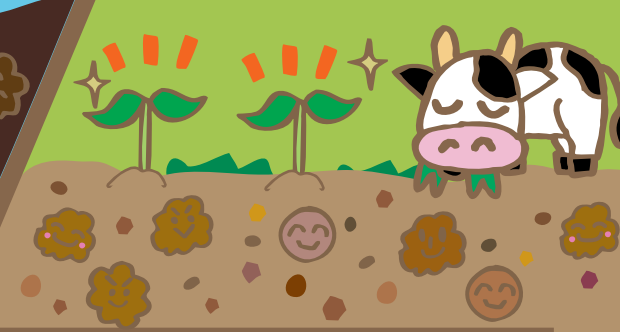
今日はウォーカー先生^{せんせい}と
 オーストラリアの牧場^{ぼくじょう}に
 やって来たんだ



草^{くさ}は土^{つち}の中^{なか}の根^ねから
 水^{みず}や養分^{ようぶん}を吸収^{きゅうしゅう}して
 大きくなるから



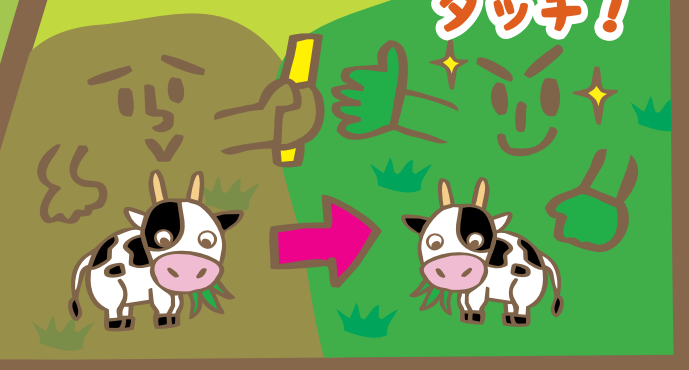
土^{つち}の上^{うへ}に出^でている
 茎^{くみ}や葉^はがほとんど
 食^たべられても
 また生^はえてくるんだ



ここ、芽^めが
 でてるよ！



牛^{うし}を放^{はな}している土地^{とち}の草^{くさ}が
 減^へってきたら、別^{べつ}の土地^{とち}に
 牛^{うし}を移動^{いどう}させて **バトンタッチ!**



あんなにたくさん食^たべて
 草^{くさ}がなくな^ならないのかな



また新^{あたら}しい草^{くさ}が
 生^はえてくるんだよ

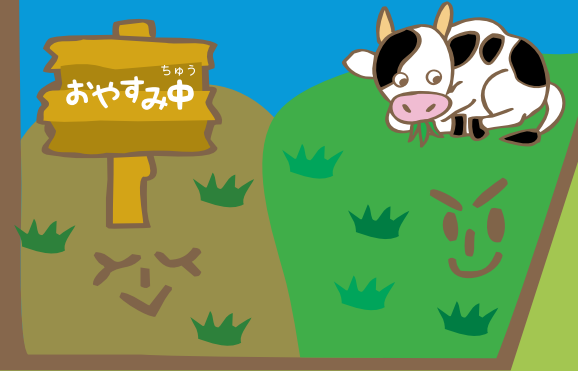
ウォーカー先生^{せんせい}は
 自然^{しぜん}の回復^{かいふくりよく}力^{ちから}
 (むずかしい言葉^{ことば}で
 「レジリエンス」) を
 研究^{けんきゅう}しているよ



2018年
 ブルー
 プラネット賞^{しょう}
 受賞^{じゆうじょう}



その土地^{とち}を休^{やす}ませる
 そうすればその場所^{ばしょ}に
 また青々^{あおあお}と草^{くさ}が生^はえるんだよ

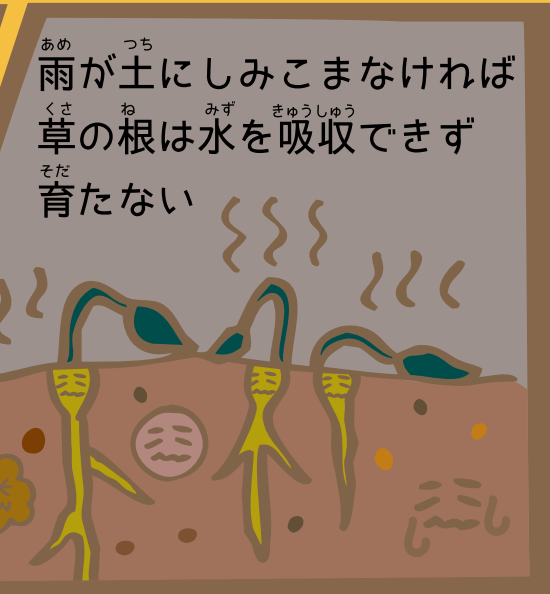
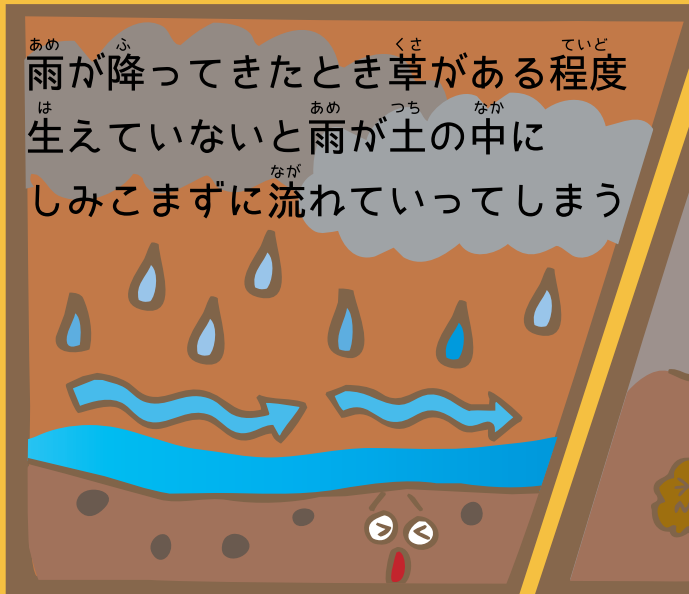
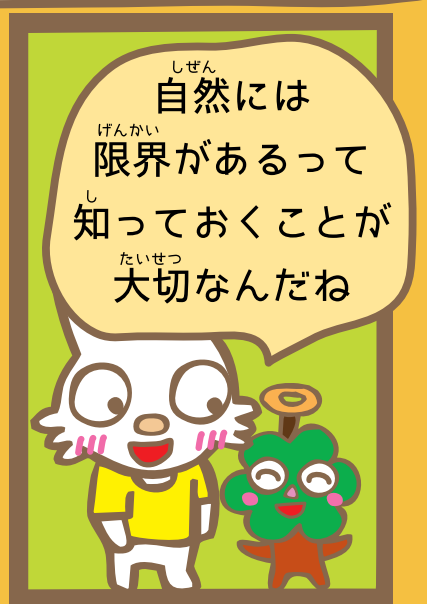
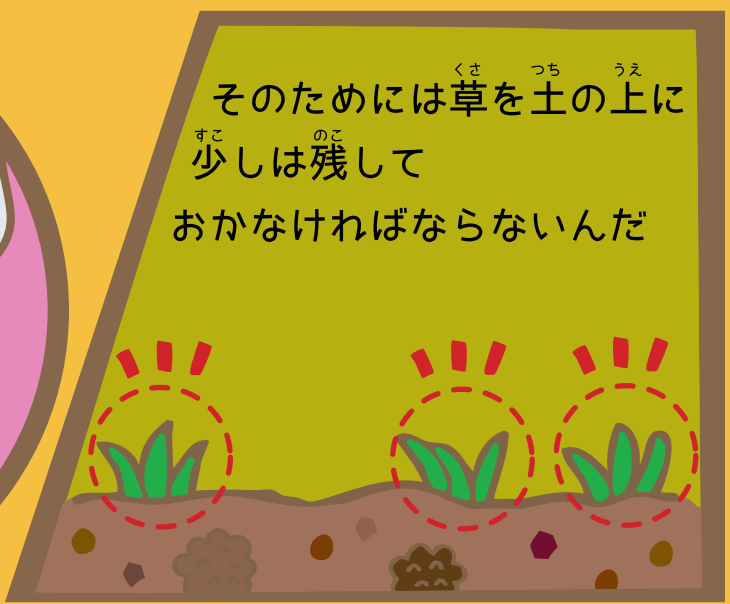
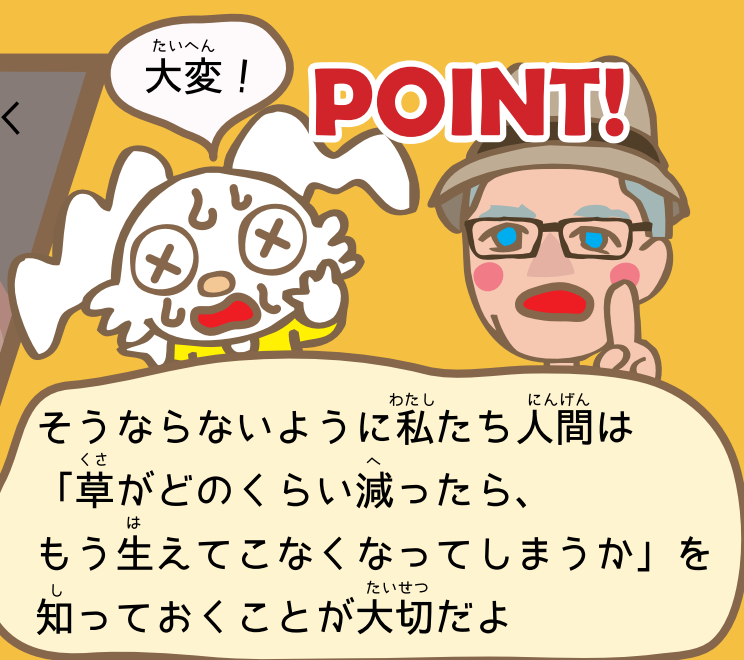
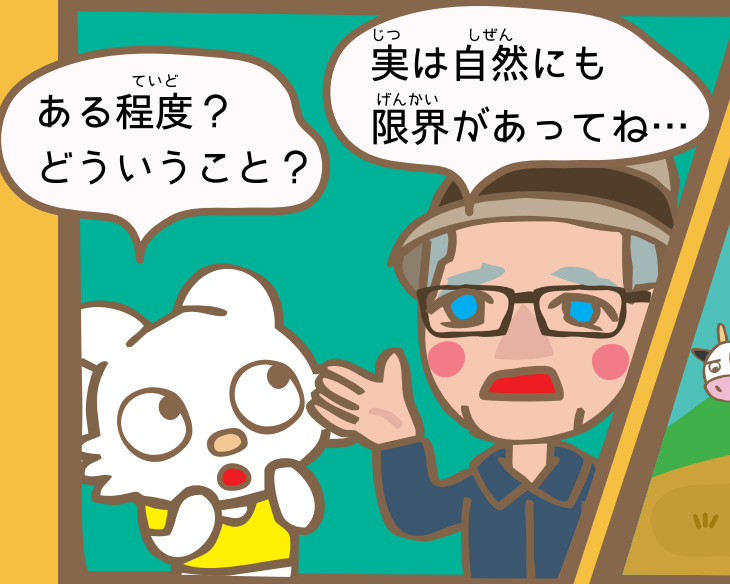


このように自然^{しぜん}は何か
 変化^{へんか}が起^おきても
 またよみかえる力^{ちから}を
 持^もっているんだ

**自然^{しぜん}て
 スゴイ!!**

…ある程度^{ていど}まではね…







どういふこと?

わたし
私は
エンドウ

ぼくは
クローバー



わたし
私は
レンゲソウ

ぼくは
ダイズ

たと
例えばダイズなどの
マメ科の植物の多くは
土を豊かにする
働きがあるんだ

なか かんそう つよ びょうき つよ
その中には乾燥に強いタイプ、病気に強いタイプなどがいて、



ある土地にマメ科の
植物が1種類だけ
植わっていたとしよう



ポツン

その植物が病気で
やられてしまったら...



びょうき びょうき つよ しょくぶつ ひで つづ
病気がはやっても、病気に強い植物が、日照りが続いても
かんそう つよ しょくぶつ のこ
乾燥に強い植物が残るから土を豊かにする働きも残るよ



その土地から
土を豊かにする働きも
なくなってしまう



でもそこに
いろんな植物が
あったら
どうだろう?



このようにいろんな植物や動物がいるってことは
いろんな変化に対応できるってことなんだ



わたし 人間も 同じだよ
勉強ができる子 だけがいれば

いいなんて
ことはない

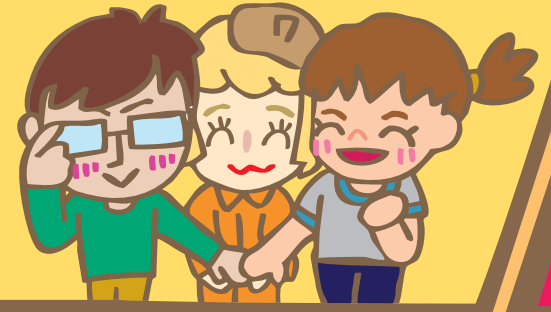


勉強ができる子
運動が得意な子



絵がうまい子

いろいろな子がいることで
何か起こっても
いろいろなやり方で協力し合って
立ち向かえるんだよ

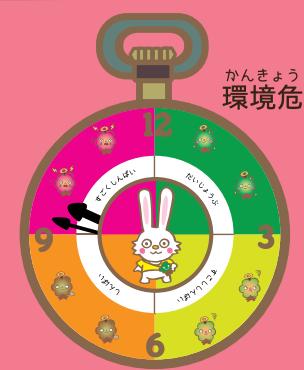
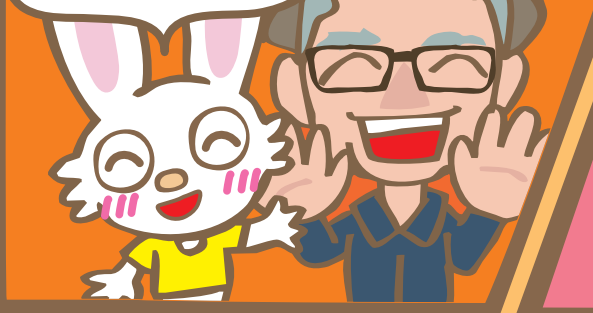


そうか！色々な生き物が
いるってそういうことなんだ
なんかお友達に
会いたくなってきたね！



ウォーカー先生
ありがとうございました！

またね！



かんきょうきまどけい®
環境危機時計

ウォーカー先生のおもしろ教室
2020年1月 公益財団法人 旭硝子財団